

HILTI

XBT 4000-A

Operating instructions

en

Mode d'emploi

fr

操作說明書

zh

取扱説明書

ja

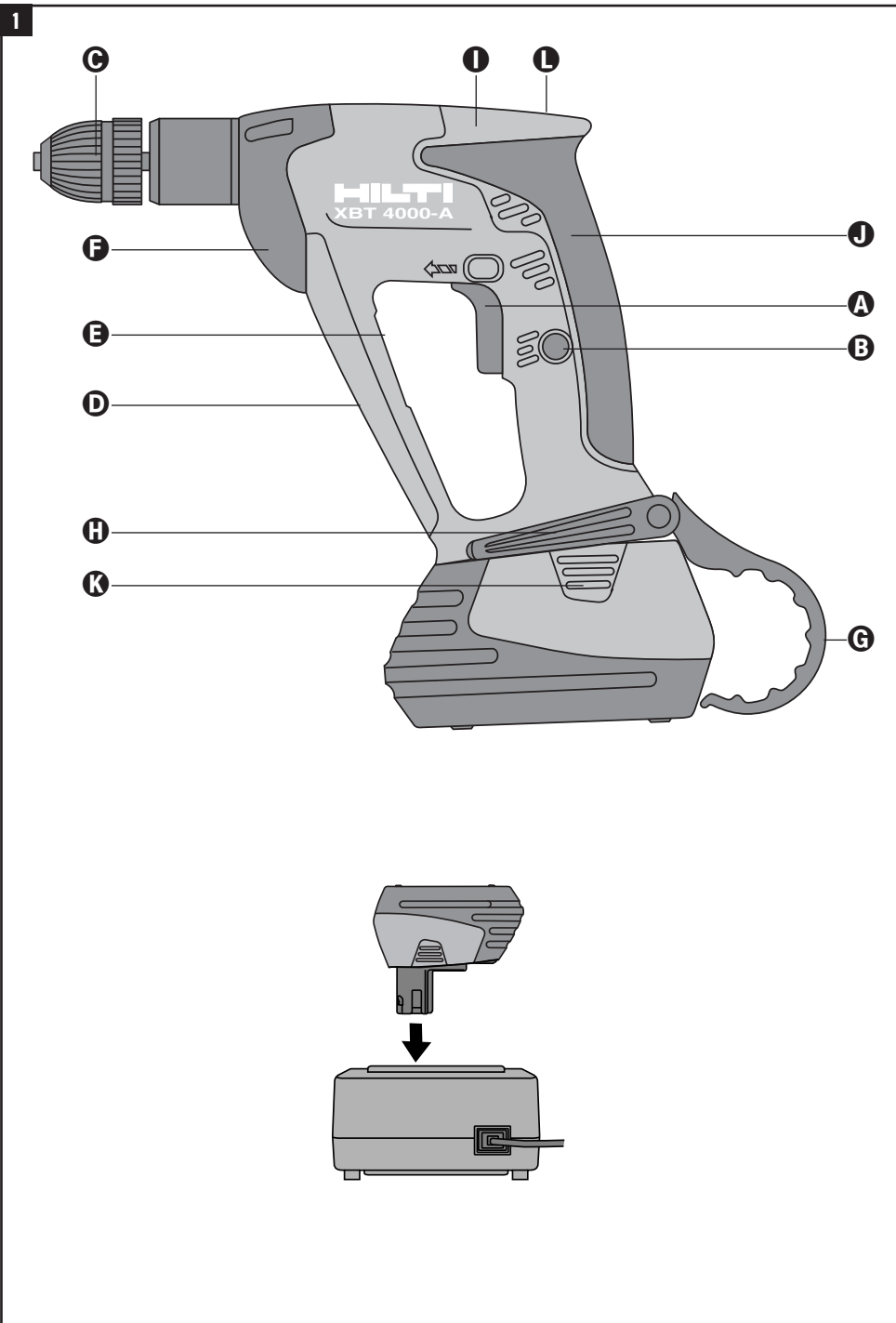
사용설명서

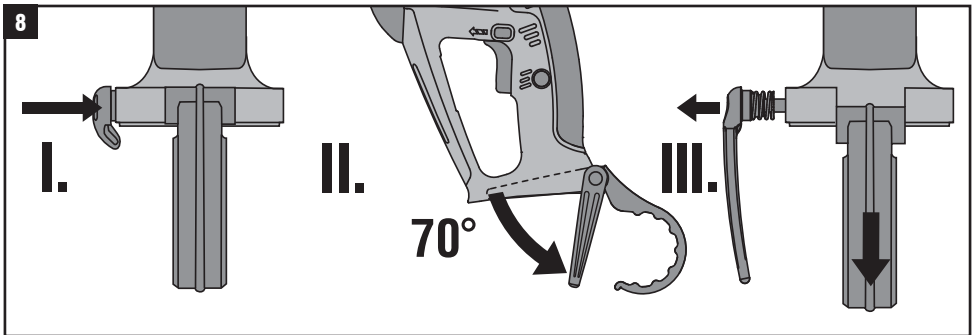
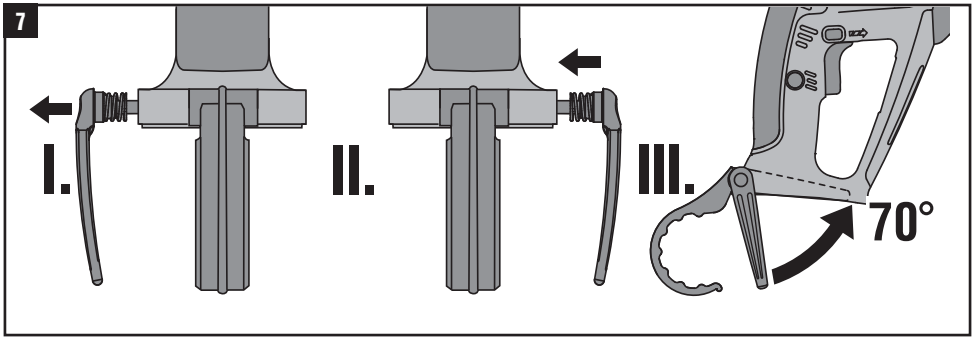
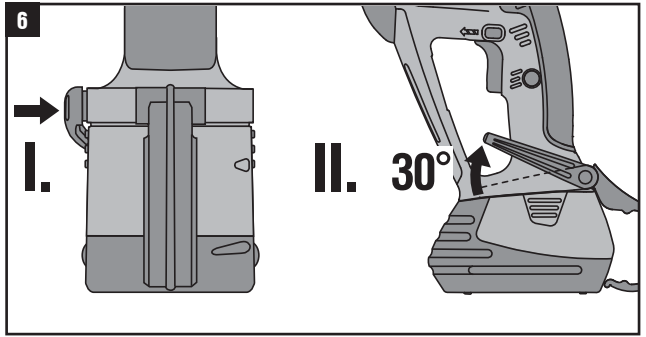
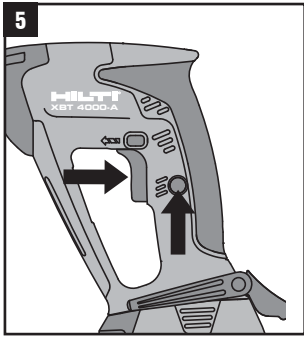
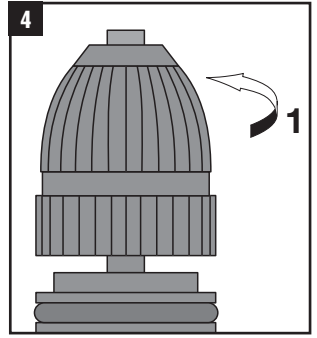
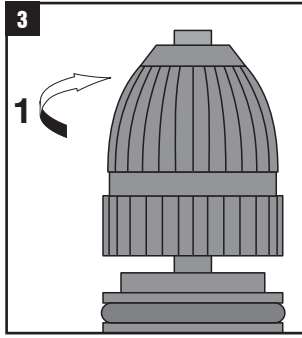
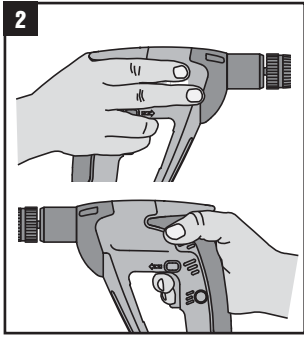
ko

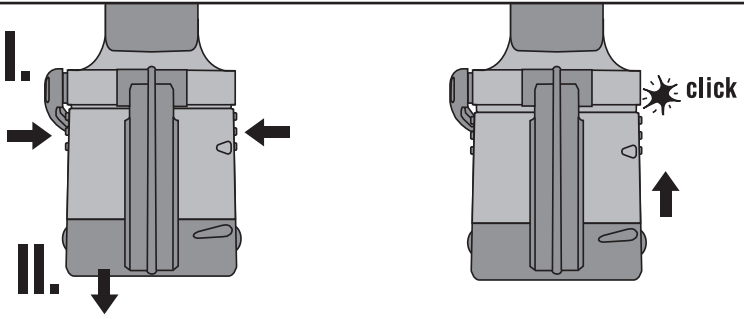
دليل الاستعمال

ar









オリジナル取扱説明書

XBT4000-A 充電式電気ドリル

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、注意事項に従ってご使用ください。

この取扱説明書は必ず本体と一緒に保管してください。

他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。

各部名称 1

- A シーソースイッチ (ON/OFF スイッチ)
(回転数電子制御式)
- B 連続動作モード用固定ボタン
- C チャック
- D 制御式通気路 (空気排出口)
- E 銘板
- F ギア部
- G 吊り下げフック
- H ベルトフック
- I モーター
- J グリップ
- K バッテリーリリースボタン
- L モーター冷却空気吸入口

目次	頁
1. 一般的な注意	31
2. 製品の説明	32
3. アクセサリー	32
4. 製品仕様	33
5. 安全上の注意	34
6. ご使用前に	36
7. ご使用方法	37
8. 手入れと保守	38
9. 故障かな?と思った時	39
10. 廃棄	39
11. 本体に関するメーカー保証	40
12. EU 規格の準拠証明 (原本)	40

1. 一般的な注意

1.1 危険に関する表示

—注意—

この表記は、軽傷あるいは所持物の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

—注意事項—

この表記は、本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

1.2 記号

警告表示



一般警告事項



電気に関する
警告事項



腐食に関する
警告事項

義務表示



保護メガネ
を着用して
ください



保護
ヘルメット
を着用して
ください



粉じんの多い
作業においては、
防じんマスクを
着用してください



耳栓を
着用して
ください



保護手袋を
着用して
ください

略号



使用前に
取扱説明書を
お読みください



リサイクル
規制部品です

1 この数字は該当図を示しています。図は二つ折りの表紙の中にあります。取扱説明書をお読みの際は、これらのページを開いてください。

この説明書では XBT 4000-A 充電式電気ドリルを「本体」と呼びます。

機種名・製造番号の表示箇所

機種名、製造番号、製造年、および技術レベルは本体に貼られた銘板に表示されています。本体番号はモーターケースの左サイドに表示されています。当データを御自身の取扱説明書にメモ書きしておき、お問い合わせなどの必要な場合に引用してください。

機種名: XBT 4000-A

製造番号:

2. 製品の説明

XBT4000-A はプロ仕様の充電式電気ドリルです。最適な操作性のために、本体をつかんだ指が本体の先端方向を向くようにすることをお勧めします **2**。モーターの冷却に必要な空気は通風溝から吸入され、本体の排出口から吐き出されます。このドリルは右利きの方だけでなく左利きの方にもご使用になれます。人間工学に基づき設計された合成ゴムグリップを使用しており、作業者の疲労を軽減するだけでなく、手からの滑り落ちも防止できます。

本体標準セット構成品：

- チャック付ドリル本体
- 取扱説明書

特徴

- 振動吸収グリップ（合成ゴム）
- 無段階変速
- ギア部は永久潤滑油構造
- 自動遮断カーボンブラシ
- 吊り下げフックとベルトフック（旋回式で左右付け替え可能）
- 連続動作モード用固定ボタン
- 制御式通気路（空気排出口）


ja

3. アクセサリー

名称	品名	品番
ステップビット	TX-BT 4/7-80	377079/9
ステップビット	TX-BT 4/7-110	377080/7
ステップビット	TX-BT 4/7-150	377081/5
セントリングツール	X-BT CD 18/24	378885/8
充電器	C 7/24	

バッテリーパック	SFB 185
ベルトフック	
吊り下げフック	
ベルトアダプター	SFB 180/185 BAP

4. 製品仕様

充電式電気ドリル XBT4000-A	
電圧	18 V 
ビット直径	5 mm (メイン使用：Ø 4 mm)
トルク	< 6 Nm
回転数	0 ~ 4000 回転/分
回転数コントロール	電気的にシーソースイッチにて
寸法 (長×幅×高)	250 × 69 × 265 mm
重量(EPTA プロシージャ 01/2003 に準拠)	2.5 kg
ギア部は完全防じん密封、永久潤滑油構造 (メンテナンスフリー)	


— 注意事項 —

本説明書に記載されている振動レベルは、EN 60745 に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。振動負荷の暫定的な予測にも適しています。記載されている振動レベルは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、振動レベルが異なることがあります。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく高くなる可能性があります。振動負荷を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく低くなる可能性があります。作業者を振動による作用から保護するために、他にも安全対策を立ててください。(例:電動工具や先端工具の手入れや保守を行う、手を冷やさないようにする、作業手順の計画を立てるなど)。

騒音/振動について (EN 50260-1) :

サウンドパワーレベル:	86 dB (A)
サウンドプレッシャーレベル:	75 dB (A)
3 軸の振動値 (振動ベクトル合計、 金属への穿孔, ($a_{h,p}$))	EN 60745-2-1 prAA : 2005 に準拠
	< 2.5 m/s ²
3 軸の振動値の不確実性 (k)	1.5 m/s ²

バッテリーパック SFB 185

電圧	18 V 
バッテリー容量	18 V × 3.0 Ah = 54 Wh
重量	1.15 kg
温度モニター	付き
セルの種類	ニッケル-金属水素化合物セル、構造型 SCB C
セルブロック	15 個

製品仕様は予告なく変更されることがあります。

5. 安全上の注意

5.1 一般安全注意事項

一警告一 注意事項のすべてをよくお読みください。注意事項に従わない場合、感電、火災、重度のけがをまねく恐れがあります。以下の事項内で使用する用語『電動工具』とは、お手持ちの電動ツール（電源コード使用）およびバッテリーツール（コードレス）を指します。

安全ガイドを大切に保管してください。

5.1.1 作業環境

- 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちがった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
- 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では電動工具を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性気体に引火する恐れがあります。
- 電動工具の使用で、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそざされると、ツールのコントロールを失ってしまう恐れがあります。

5.1.2 電気に関する安全注意事項

- 本体の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなればなりません。プラグは絶対に変更しないでください。アースした本体と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を小さくすることができます。
- パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。
- 本体を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。
- 本体を持ち運んだり、吊り下げたり、コンセントからプラグを抜いたりするときは、必ず本体を持ち、ケーブルを持って引張りつけないでください。電源コードを火気、オイル、鋭利な刃物、本体の可動部に触れる場所に置かないでください。コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が大きくなります。
- 屋外工事の場合には、認可マーク付きの専用延長コードのみを使用してください。屋外専用の延長コードを使用すると、感電の危険が小さくなります。

5.1.3 作業者に関する安全

- 電動工具を使用の際には、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には本体を使用しないでください。本体使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。
- 作業保護具および保護メガネを常に着用してください。けがに備え、電動工具使用状況に応じた防じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの作業保護具を使用してください。

- 電動工具の不意な始動は避けてください。電動工具にバッテリーを装着する前に、オン/オフスイッチが『オフ』の状態にあることを必ず確認してください。オン/オフスイッチが入っている状態で本体のスイッチに指を掛けたまま運んだり、バッテリーを装着したりすると、事故の原因となる恐れがあります。
- 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。
- 慎重な作業をおこなってください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- 作業に適した作業服を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋をツール可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。

5.1.4 電動工具の慎重な取扱いおよび使用

- 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、効率よく、スムーズかつ安全な作業がおこなえます。
- スイッチに支障がある場合には、電動工具を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- 本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜いてください。この安全処置により、本体の不意の始動を防止することができます。
- 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みでない方による本体のご使用はお避けください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- 電動工具のお手入れは慎重におこなってください。本体の可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、本体の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分を修理させてください。発生事故の多くは保守管理の不十分なツールの使用が原因となっています。
- 先端工具をきれいに保ってください。お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。
- 本説明書内の指示に従うとともに、各形式に合った電動工具、アクセサリー、先端工具を使用してください。この際、作業環境および用途に関してもよくご

ご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

5.1.5 充電器具の慎重な取扱いおよび使用

- 電動工具にバッテリーを装着する前に、オン/オフスイッチが『オフ』の状態にあることを必ず確認してください。オン/オフスイッチが入っている状態でバッテリーを装着すると、事故の原因となる恐れがあります。
- バッテリーがメーカー推奨の充電器で充電されていることを確認してください。特定のバッテリーに適した充電器にその他のバッテリーを使用すると、火災をまねく恐れがあります。
- 必ず本機に適したバッテリーを使用してください。その他のバッテリーを使用すると、けがや火災をまねく恐れがあります。
- 使用していないバッテリーは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジ、その他バッテリー端子間の短絡の原因となる小さな金属片から離してください。バッテリーの短絡は、やけどや火災をまねく恐れがあります。
- 取扱いを誤ると、バッテリーからバッテリー液が漏れる恐れがあります。流れ出た液体に触れることのないよう十分ご注意ください。万一、この液体に触れてしまった場合は、水でよく洗い流してください。液の飛沫が眼に入ってしまった場合は、すぐに大量の水で洗眼した上、眼科医の診察を受けてください。流れ出た液体は、肌に刺激を与えたり、やけどをまねく恐れがあります。

5.1.6 サービス

- 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性維持が確実にこなわれます。

5.2 その他の安全上の注意

5.2.1 使用者に留意して頂くこと

- 耳栓を着用してください。騒音により、聴覚に悪影響が出る恐れがあります。
- サイドハンドルをご希望の位置に回し、正しく、しっかりと固定されていることを確認します。
- 本体に集じん装置を取り付けずに作業をする場合、作業者の方は防じんマスクを着用しなければなりません。
- 不意に始動しないようにしてください。スイッチに指を掛けた状態で本体を持ち運ばないでください。
- 用途に合った工具をご使用ください。本体を本来の目的以外には使用しないでください。必ず、指示にしたがひ、不具合のない状態で使用してください。
- 使用中に先端工具が高温になる場合があります。先端工具の交換時には、保護手袋を着用してください。
- 本体は、子供や体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。
- 本体で遊んではいけないことを子供に伝えてください。
- 含鉛塗料、特定の種類の木材、鋳物、金属などの母材から生じた粉じんは、健康を害する恐れがありま

す。作業者や近くにいる人々が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。カシヤブナ材などの特定の粉じんは、特に木材処理用の添加剤（クロム塩酸、木材保護剤）が使用されている場合、発ガン性があるとされています。アスベストが含まれる母材は、必ず専門家が処理を行うようにしてください。できるだけ集じん装置を使用してください。集じん効果を高めるには、当電動工具に適したヒルティ推奨の木材／鋳物粉じん用移動式集じん機を使用してください。作業場の換気に十分配慮してください。フィルタークラス P2 の防じんマスクの着用をお勧めします。処理する母材について、各国で効力を持つ規定を遵守してください。

5.2.2 電動工具の慎重な取扱いおよび使用

- 作業材料を固定します。作業材料を締め付ける時は、クランプあるいは万力を使用してください。この方が手で押さえるよりも確実であり、本体を両手で自由に操作することができます。
- 使用する先端工具がクランプ機構に適合し、クランプ内にしっかりと固定されていることを確認してください。
- 埋設された電線または電源コードが先端工具で損傷する恐れがある場合は、本体の絶縁されたグリップを保持して作業してください。電流の流れている電線に触れると、本体の絶縁されていない金属部分が通電され、作業者が感電する危険があります。

5.2.3 電気に関する安全注意事項

- 作業を開始する前に、作業場に埋設された電線、ガス管や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。例えば、作業中に誤って先端工具が電線に触れると、本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。この場合、感電による重大な事故が発生する危険があります。

5.2.4 作業場

- 作業場の採光に十分配慮してください。
- 作業場の換気に十分配慮してください。作業場の換気が十分でない、塵埃による汚染で健康が害される恐れがあります。

5.2.5 個人保護用具

本体使用中、作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護メガネ、耳栓、保護手袋および防じんマスクを着用しなければなりません。



保護メガネを着用してください



保護ヘルメットを着用してください



粉じんの多い作業においては、防じんマスクを着用してください



耳栓を着用してください



保護手袋を着用してください

5.2.6 充電器具の慎重な取扱いおよび使用

- a) バッテリーパックを充電器にセットする前に、バッテリーパックの表面の汚れを落とし、乾かしてください。
- b) バッテリーパックが本体にしっかりと固定されていることを確認してください。落下したバッテリーパックで怪我をする恐れがあります。

- c) 損傷したバッテリーパック（例えば亀裂や破損箇所があったり、電気接点が曲がっていたり、押し戻されていたり、引き抜かれているバッテリーパック）の充電や使用はしないでください。

ja

6. ご使用前に



新しいバッテリーパックの場合は、使用前に必ず十分に充電してください。

- SFC 7/8 H 充電器では、通常充電モードで 24 時間以上、充電を行う必要があります。
- SFC 7/18、C7/24、TCU 7/36 充電器では、コンディショニング充電モードで 12 時間以上、充電を行う必要があります。十分に充電しておかないと、バッテリー容量に影響を及ぼすことがあります。

—注意事項—

- 本体には、SFB 185 バッテリーパックのみを使用してください。

- 低温ではバッテリーの力が低下します。
- バッテリーを使用しない場合は室温で保管してください。
- バッテリーパックを太陽の直射下、ラジエーターの上、窓際等で保管しないでください。
- バッテリーの充電量が少なくなった場合は、本体が完全に停止する前に、予備のバッテリーと交換してください。効率が落ちたバッテリーパックは、交換後速やかに充電してください。
- 必ず TX-BT 4/7-80 / 110 / 150 ステップビットを使用してください。

バッテリーパックはベルトアダプターに差し込んだまま充電せず、必ず充電器にセットして充電してください。

7. ご使用方法

—注意—

本体および穿孔作業は騒音を発生させます。過剰な騒音で聴力の低下を招く場合もあります。耳栓を着用してください。

穿孔作業で、母材の破砕片が生ずる場合があります。破片が身体の一部、気管、眼などを傷つけることもあります。そのため、防護メガネ、防じんマスクおよびヘルメットを着用してください。

チャックの表面は粗くなっています。チャックを回す時に手を怪我する恐れがあります。保護手袋を着用してください。

7.1 クイックリリースチャック

7.1.1. クイックリリースチャックを開く 3

1. スリーブを回してクイックリリースチャックを開き、先端工具を取り付けます。

7.1.2 クイックリリースチャックを閉じる 4

1. 先端工具を装着します。
2. スリーブを回して先端工具を締め付けます。

7.2 シーズースイッチ 5

ドリルビットがブロックされてモーターが2～3秒以上停止した場合は、故障防止のため本体のスイッチを切ってください。

1. シーズースイッチをゆっくり押すことにより、回転数をゼロから最高まで無段階調整することができます。

7.3 連続動作モードオン 5

連続動作モード用固定ボタンを使用すると、モーターは最適な回転数と冷却力で連続動作します。

ドリルビットがブロックされてモーターが2～3秒以上停止した場合は、故障防止のため本体のスイッチを切ってください。

1. シーズースイッチを押して、その状態を保ちます。
2. 固定ボタンを押します。
3. シーズースイッチから指を離します。
4. 固定ボタンから指を離します。

7.4 連続動作モードオフ 5

1. シーズースイッチをストップ位置まで強く押します。固定ボタンが元の位置に戻り、連続動作モードがオフになります。

7.5 ベルトフック 6 7

ベルトフックを使用すると、本体を作業ベルトに差し込んで保持することができます。ベルトフックの最適な位置は水平状態から30°上に回したところです。

1. バッテリーパックを本体から取り外します。
2. ボタンを押します (図 4-I 参照)。
3. ベルトフックを水平状態から30°上へ回してロックします (図 4-II 参照)。

また、このベルトフックは左利きの方のために、本体の反対側に取り付けることもできます。

1. ボタンを押します (図 6-I 参照)。
2. ベルトフックを水平状態から70°下へ回します (図 6-II 参照)。
3. ベルトフックをガイドから抜き取ります (図 5-I 参照)。
4. ベルトフックを反対側のガイドに差し込みます (図 5-II 参照)。その際は、吊り下げフックをバッテリーパックに密着させ、ピンロックできるようにモーターケースと吊り下げフックのガイドスリットを重ね合わせます (図 5-III 参照)。
5. ベルトフックを水平方向へ70°回してロックします (図 5-III 参照)。

—注意事項—

ベルトフックがしっかりと固定されていることを確認してください。

7.6 吊り下げフック 8

吊り下げフックを使用すると、本体をいろいろな所に一時保管できます。吊り下げフックは、不要な場合、取り外すことができます。

7.6.1 吊り下げフックの取り外し

1. バッテリーパックを本体から取り外します。
2. ボタンを押します (図 6-I 参照)。
3. ベルトフックを水平状態から70°下へ回します (図 6-II 参照)。
4. ベルトフックをガイドから抜き取ります (図 6-III 参照)。
5. 吊り下げフックを取り外します (図 6-III 参照)。
6. ベルトフックをガイドに差し込みます (図 5-II 参照)。
7. ベルトフックを水平方向へ70°回してロックします (図 5-III 参照)。

7.6.2 吊り下げフックの装着

1. ボタンを押します (図 6-I 参照)。
2. ベルトフックを水平状態から70°下へ回します (図 6-II 参照)。
3. ベルトフックをガイドから抜き取ります (図 6-III 参照)。
4. 吊り下げフックを取り付けます。その際は、吊り下げフックをバッテリーパックに密着させ、ピンロックできるようにモーターケースと吊り下げフックのガイドスリットを重ね合わせます。

5. ベルトフックをガイドに差し込みます (図 5-II 参照)。
6. ベルトフックを水平方向へ 70° 回してロックします (図 5-III 参照)。
7. バッテリーパックを装着します。

—注意事項—

吊り下げフックの固定状態を確認してください。吊り下げフックの使用は最小限にとどめてください。長期間に渡って本体を使用しない場合は、吊り下げフックから外して保管してください。

7.7 バッテリーパックの取り外し (2本の指で同時に) 9

1. バッテリーの両サイドにあるリリースボタンを押します。
2. バッテリーパックを本体から下へ引き抜きます。

7.8 バッテリーパックの装着 9

必ずヒルティ SFB 185 バッテリーパックを使用してください。

1. バッテリーパックを本体の下にあてがいがながら、カチッと噛み合う音がするまで挿入します。

7.6 バッテリーパックの充電



必ずヒルティ SFC 7/18 H、C7/24、C7/36-ACS、SFC 7/18、TCU 7/36 充電器を使用してください。取り扱いを誤ると、電気ショックによる障害や加熱、さらにはバッテリー液漏れの原因となります。充電方法については、充電器の取扱説明書を参照してください。

8. 手入れと保守

8.1 先端工具の手入れ

先端工具の表面に付着した汚れを取り除きます。時折、油を染みこませた布で表面を磨いて腐食から守ってください。

8.2 本体の手入れ



本体が不意に始動することがないように、清掃作業を始める前にバッテリーパックを取り外してください。

注意

本体、特にグリップ表面を乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスが付着していないようにしてください。洗剤、磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。

本体の外側ボディは、耐衝撃性プラスチックで作られています。グリップ部分は合成ゴムを使用しています。

通気溝が覆われた状態で本体を使用しないでください。通気溝を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。本体内部に異物が入らないようにしてください。定期的に、少し湿した布で本体表面を拭いてください。スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。電気上の安全面に悪影響が出る可能性があります。

8.3 保守

本体のすべての表面パーツに損傷がないか、またすべての装置が支障なく作動するか定期的に確認してください。パーツが損傷していたり、装置が正しく作動しない場合は、本体を使用しないでください。修理が必要な際は、弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にご連絡ください。

本体の電気系統部分の修理は訓練された修理スペシャリストのみができます。

8.4 バッテリーパックの手入れ

バッテリー端子に付着した埃や油を取り除いてください。必要に応じて、バッテリー端子をきれいな布で清掃します。

バッテリーが完全に消耗するまで使用すると、セルに損傷を与える恐れがあります。本体の出力が落ち始めた場合は、バッテリーパックを充電する必要があります。

月 1 回か、あるいは明らかにバッテリー容量が低下している場合には、コンディショニング充電を行ってください：

— SFC 7/8 H 充電器では、ノーマル充電モードで 24 時間以上充電を行う必要があります。

— C7/24、SFC 7/18 TCU 7/36 充電器では、コンディショニング充電モードで

12 時間以上充電を行う必要があります。

コンディショニング充電でも希望の出力が得られない場合は、ヒルティの診断を受けられることをお勧めいたします。

8.5 手入れと保守を行った後の点検

手入れ、保守の作業を済ませた後は、すべての安全機構が装着され、正常に作動していることを確認してください。

9. 故障かな？と思った時

症状	考えられる原因	処置
本体が始動しない	<ul style="list-style-type: none"> - バッテリーが正しくロックされていない - バッテリーの放電 - 電氣的故障 	<ul style="list-style-type: none"> - バッテリーをカチッと噛み合う音が出るまで挿入する - バッテリーを充電する - ヒルティリペアセンターに連絡する
回転数が突然落ちる	<ul style="list-style-type: none"> - バッテリーの容量が少なくなった 	<ul style="list-style-type: none"> - 空のバッテリーをフル充電のバッテリーに交換する
バッテリーの消耗が通常より早い	<ul style="list-style-type: none"> - バッテリーの状態が最適でない 	<ul style="list-style-type: none"> - コンディショニング充電を行う (取扱説明書を参照)
バッテリーがカチッと噛み合う音が出るまでロックされない	<ul style="list-style-type: none"> - バッテリーのロックノッチが汚れている 	<ul style="list-style-type: none"> - カチッと音が出るようになるまで、ロックノッチを清掃する - 問題が再発する場合は、ヒルティリペアセンターに連絡する
本体あるいはバッテリーが熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> - 電氣的故障 - 本体に負荷がかかり過ぎている (適用基準を越えている) - ドリルビットが鉄筋を噛んだ 	<ul style="list-style-type: none"> - 電源を直ぐに切る。本体からバッテリーを取り出し、ヒルティリペアセンターに連絡する - 使用状況に応じた工具を使用すること - 鉄筋を噛んだドリルビットを取り外す
ドリルビットがチャックの中で空転する	<ul style="list-style-type: none"> - チャックがしっかりと締まっていない 	<ul style="list-style-type: none"> - チャックを適切な力でしっかりと締め付ける
吊り下げフックがぐらつく	<ul style="list-style-type: none"> - 吊り下げフックが正しく固定されていない 	<ul style="list-style-type: none"> - 取扱説明書の注意事項を参照

10. 廃棄



本体の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でヒルティは、本体や古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。



EU 諸国のみ
 本体を一般ゴミとして廃棄してはなりません

古い電気および電子工具の廃棄に関するヨーロッパ基準 と各国の法律に基づき、使用済みの電気工具は一般ゴミとは別にして、環境保護のためリサイクル規制部品として廃棄してください。

11. 本体に関するメーカー保証

保証条件に関するご質問は、最寄りのヒルティ代理店・販売店までお問い合わせください。

12. EU 規格の準拠証明 (原本)

名称：	充電式電気ドリル
機種名：	XBT4000-A
設計年：	2002

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します。

2016年4月19日まで：2004/108/EG、
2016年4月20日以降：2014/30/EU、
2006/42/EG、2006/66/EG、2011/65/EU、
EN 60745-1、EN 60745-2-1、EN ISO 12100。

**Hilti Corporation, Feldkircherstrasse 100,
FL-9494 Schaan**



Paolo Luccini
Head of BA
Quality and Process Management
Business Area
Electric Tools & Accessories
05/2015

Tassilo Deinzer
Executive Vice President
Business Unit
Power Tools & Accessories
05/2015

技術資料：
Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH
Zulassung Elektrowerkzeuge
Hiltistrasse 6
86916 Kaufering
Deutschland

ja



Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423 / 234 21 11

Fax: +423 / 234 29 65

www.hilti.com

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan
Pos. 3 | 20150922



377605